

2021年度 事業報告

2021年度事業計画に基づき、会員会社相互間の情報交換を目的とした各種会議、経営幹部を対象とした経営セミナー、従業員の知識及び技能の向上のための講習会等の開催や協会誌「きずな」の充実を図るなど、実施した事業の主なものは次のとおりです。

1 会務関係

- (1) 第10回定時社員総会を2021年6月21日に開催しました。
- (2) 理事会を6回開催しました。(コロナ禍対応により、2回書面審議とした。)
- (3) 代表者会議を2021年10月28日に開催し、事業関係についての報告を行うと共に会員会社間の情報交換の場としました。
- (4) 決算公告について、貸借対照表が2021年6月25日官報に掲載されました。

2 事業関係

- (1) 設立記念式典を2021年10月4日に開催し、優良団体50団体、優良社員105名、作業近代化功労8名、構内作業功労2名、検修作業功労2名、サービス向上功労3名、協会誌「きずな」優秀作品10件を表彰しました。
- (2) 受賞者選考委員会を2021年5月13日及び7月15日に開催し、2021年度優良団体及び優良社員の支部長推薦枠と定期表彰者などを決定しました。(コロナ禍対応により、5月は書面審議とした。)
- (3) 作業近代化委員会を2021年11月26日及び2022年3月3日にWeb併用での開催とし、品質向上、効率化、安全性向上、環境保護等について議論を行いました。
なお、11月25日には、東京ビックサイトビルメンフェアの見学を各自で行いました。
- (4) 構内作業委員会を2021年5月20日にWeb併用での開催とし、各社の構内作業に関する取組みについて議論を行いました。
- (5) 検修作業委員会を2021年11月10日にWeb併用での開催とし、各社の検修作業に関する取組みについて議論を行いました。
- (6) サービス向上委員会を2021年6月(清掃分科)及び11月(駅業務分科)にWeb併用での開催とし、各社で取り組んでいるサービス向上に関する取組みについて議論を行いました。
- (7) 協会誌「きずな」の一層の充実を図るために編集関係会議を6回開催しました。

また、特集記事として2021年10月号に「コロナ禍での清掃やお客さまへの対応について」を掲載しました。

- (8) 経営セミナーを2021年11月12日に開催し、多摩大学学長・教授寺島実郎氏及び東京農業大学名誉教授・農学博士小泉武夫氏による講演を実施しました。(参加者72名)
- (9) 新任役員セミナーを2021年7月19日に開催し、「取締役の権限と責任」及び「経営者視点からの決算書の知識」～経営者に要求される決算書の見方、読み方、使い方～についての講義を行いました。(参加者30名)
- (10) 職長及び管理者等を対象とした安全衛生講習会を2021年7月8日・9日及び2021年10月7日・8日に開催しました。(参加者43名:職長20名・管理者23名)
- (11) 作業安全責任者講習会を2021年7月13日(東京)に開催し、運転事故防止に関する事項等について講義を行いました。(参加者74名)
- (12) Q C活動講習会を2021年4月15日・16日(リーダーコース)及び2021年10月27日・28日(支援者コース)に開催しました。
(参加者24名:リーダー15名・支援者9名)
- (13) Q C活動全国発表大会を2022年2月10日に開催し、各支部推薦の13グループが活動成果を発表しました。
- (14) 資格認定業務を以下のとおり実施しました。
 - ① 資格認定業務審議会を2021年5月17日にWeb併用での開催としました。
 - ② 技術員認定講習会及び認定試験を実施しました。(参加者352名)
- (15) 安全成績優良団体達成箇所(労働無災害)に表彰を行いました。(17事業所等)
- (16) 海外鉄道事情視察団については、コロナ禍対応により「中止」としました。